

令和7年度 前期入学式 式辞

夙川の桜の木々が咲き誇り、万物が春の息吹を謳歌し、柔らかな春風が肌に触れる今日の佳き日、PTA会長様をはじめご来賓の方々のご臨席を賜り、令和7年度兵庫県立西宮香風高等学校前期入学式を挙行できますことは、私ども関係者一同にとって、この上ない喜びであり、感謝に堪えません。高いところからではございますが、本校の教職員を代表して心から御礼申し上げます。

先ほど入学を許可しました231名の新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。また、今日のこの喜びの日を迎え、これまで深い愛情をもって育てて来られたましたご家族の皆様には、お喜びもひとしおのことと拝察いたします。お子様のご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本日、みなさんが門をくぐった兵庫県立西宮香風高等学校は、平成13年に全国でも最先端の多部制単位制高等学校として、ここ西宮の地に誕生しました。桜の名所である夙川の河口に広がる香櫨園浜の風が香る「香」と、多部制単位制高校という弾力的な教育課程を生かした新しい学びの「風」が広がることを期待して、「西宮香風」と名づけられました。本年はその創立から25年目を迎え、すでに3,837名に及ぶ卒業生が未来に向かって飛躍し、巣立っています。本校が「多様性」を大切にしていることは、皆さんもよくご存じのことと思います。つまり、様々な個性や年齢、生活環境、将来の夢も異なる生徒が共に学ぶ学校です。一緒に学校生活を過ごすことを通して、「自分らしさ」を改めて発見したり、多様な見方を生かして新しい考え方を生み出したりすることができる、可能性に満ちた学校です。そのような環境の中で、皆さんには自分らしさとは何かを考え、自分だけの夢を見つけていたいただきたいと思います。

さて、社会は今、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっています。また、人工知能 AI やロボット、自動走行車などの技術の活用によって、人が快適に暮らせる社会 Society5.0 とも呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測もなされています。そのような状況下においては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った新たな価値を生み出していくことが期待されています。このような世の中を背景に、これから高校生になる皆さんに2つお話をさせていただきます。

1つ目は、これからの社会を生きていく上で、身につけなければならないものについてです。2020年に世界経済フォーラムは「仕事の未来 2020」を発表し、このレポートの中で、今後「企業ではたらく従業員にとって不可欠である技術」について、順位付けしたものが発表されました。その第1位となったのが「分析思考」および「革新」というものでした。

「分析思考」とは、客観的なデータや事実に基づいて判断を下す思考スタイルを指し、「革新」とは新たな考え方を導入し、これまでの状況を根本的に改善する行為のことを意味します。この2つのスキルを会得するためには、日々の生活のなかで、常に選り好みせず、多くの情報を取り入れる姿勢を持っていることが不可欠になります。本校では多様な価値観を認め合う教育方針により、教育活動を推進しています。他人を尊重し多様性を受け入れる心を持つことにより、多くの情報を取り入れることができ、他者を認める感性により、客観的な判断を下す思考スタイルが形成されていくことが期待できます。同時に、新たな考え方を発見し、これまでに無い考え方や行為を生み出す可能性を秘めています。つまり、本校の多様性を受け入れる教育スタイルは、これから社会が求める「分析思考」そし

て「革新」を育成する礎になると言っても過言ではありません。ですから、入学後は他人を尊重し、多様性を受け入れる気持ちを持つこと、つまり、他人を思いやり、支え合い、応援する気持ちを持ち、そして常に感謝の心を持ってほしいと願っています。そして、自分が夢中になることを見つけて、精一杯取り組んでください。

2つ目は、皆さんの高校生活についてです。これからの高校生活は希望に満ちており、多くの夢が皆さんを待っています。しかし、夢や希望を追い求めると、必ず壁が皆さんの前に立ちはだかります。苦しいとき、辛いとき、挫けそうになることもあるかもしれません。そんなときに大切なことは「どうせ無理」という言葉を使わないことです。本校に在籍する生徒には常にこのことを話しています。「どうせ無理」ではなく「どうすれば」を常に考えてください。本校の1階に卒業生のパネルが飾ってあります。その中には、医者や科学者、東京パラリンピックの銀メダリスト等、多方面で活躍する卒業生の言葉が掲載されています。卒業生たちは最初周りから見れば届きそうもない夢を持ちました。おそらく周りから「どうせ無理」という言葉をかけられた可能性があります。また、去年の部活動においては8つの部活動が全国大会に出場し、そのうち3名が日本一に輝きました。大学の進路実績においても難関大学と呼ばれる大学に多数の生徒が合格しました。この中には、中学時代にほとんど学校に行けていない生徒もいます。このような先輩方は、全員「どうせ無理」ではなく「どうすれば」を追求しました。その結果、夢を現実のものとししました。本校に入学する皆さんは可能性に満ちており、自分たちの能力を大きく開花させるのはこれからです。ですから、常にこの考えを持ってください。そして、みなさんがつまずいた時には周りを見てください。常に見守り、寄り添い、アドバイスを送り、時には一緒になって壁を乗り越えようとする多くの先生方や友人がいます。西宮香風高校には、誰かがすぐに手を差し伸べてくれる、温かい雰囲気があります。どうか安心して、高校生活の第一歩を踏みだしてください。

最後になりましたが、ご家族の皆様、本日より皆様の大切なお子様をお預かりすることになります。卒業時には西宮香風高校に入学させてよかったと喜んでいただけるよう、教職員一同、持てる力を最大限に発揮し、お子様の教育に取り組む所存でございます。どうか本校の教育活動に対するご理解ご協力、そしてご支援を賜りますようお願いいたします。

本日、入学されたみなさん全員が本校で充実した日々を過ごされ、人生の確かな礎を築くことを祈念して式辞とします。

令和7年4月8日

兵庫県立西宮香風高等学校長 桑田 圭介